

第9回 産業連関表

変化する経営・社会



2018. 04. 30
2017. 10. 30
会計と経営のブラッシュアップ
平成 29 年 9 月 25 日
山内公認会計士事務所

本レジュメは、企業会計基準及び次の各書を参考にさせていただいて作成した。

(平成 23 年沖縄県産業連関表) (平成 22 年度県民経済計算 沖縄県企画部)

(経済・経営系数学概説 竹之内脩 2010 新世社)(ゼロからわかる指数・対数 深川和久著 2007.12 ベレ出版)

(ネクスト・リサエティ P.F. ドラッカー 2002.5 ダイヤモンド社刊 上田惇生訳 2040 年問題 野口悠紀雄著 2015.3 ダイヤモンド社 人口知能は人間を超えるか 松尾豊著 2015 角川)

(経済情勢 平成 28 年度版 平成 29.5 沖縄県企画部)

I 経営の目的と会計の工夫

金額は数量×@単価によって得られた結果である。経営者は商品の数量と単価をもって会社の経営を考え、車を運転する人は距離を頭において、時間と速度を考えて目的地に到達する。数量×@単価を考え、深く考え検討することが、会計にふくらみを与え、動的にすることになり、会計の新しい工夫へと導く方法ではないだろうか。

何故ならば、決まった金額という数字のみでなく、数字（量）と数字（単価）の関係を経営活動の上で表現することによって金額という数字をより深く理解し、認識することによって会計の数字が生き、ふくらみができる。

会計にふくらみを

(固定) (動的)
過去 - 現在 -

B / S - P / L -
 $\boxed{\quad}$

金額 数量 × @ 単価

(変化)
将来②

経営②
 $\boxed{\quad}$

売上高 Volume

(動的な会計)

動的 - 現在、将来
付加価値を動的に記録する

距離 時間 × 速度
(固定した結果) (動く数 × 動く数)

導関数・微分係数
(時速計・速度計)

このようにすれば制度会計にはなかった、会計のもう一つの面を経営に役立てることができる筈である。会計はこの面の取組みが遅れているのではないか。会計に数と数との変動の関係を積極的に導入すべきである。即ち、一方の数（数量）が動けば、他方の数（@単価）も変化し、その結果（金額）も動くという数の変化する状況である。これが動的な経営というものではなかろうか。数字と数字を動かせば、そこに新しい現象が生れることが期待できる。会計による経営強化の面と方法を今一度見直す必要がある。

一方、経済学は、固定した過去も現在も求め難いのかも知れないが、動く数と数を取り扱い、将来の数字を積極的に取り入れている。そして数字を駆使して経済変動の把握や景気予測といった経済学として意味のある社会的価値を生み出すことに成功している。経営学も数学を使用している。会計も数学の活用を促進すべきである。

平成 23 年沖縄県産業連関表の P/L

2017.04.08

県内算出額(市場表示)は企業の
売り上げに当るのか(輸移入
1,883 を含む)変動費を中間投入
額として

原料費、外注費、経費等及び輸移
入とする

財産所得は地代等か
流通税等(補助金控除後)

企業所得は経常利益か

| | | |
|---------------|-------------------------------------|---------|
| | 9,350 * | 1社 187M |
| 売上高 | 8,101 B | |
| 変動費 (材料費) | <u>4,407</u> | |
| | 4,300 * 4,600 | |
| 付加価値 | 3,726 | 46.0% |
| (県内総生産) | _____ | |
| | | |
| 雇用者報酬 | 1,850 | 22.8% |
| 財産所得 (外債削減) | 234 | |
| 償却費 (資本減免) | 840 | |
| (設備投資) | | |
| 流通税等 | 65 | |
| 企業所得 (法人税等) | <u>737</u> | 9.1% |
| (税引後) | | |
| 50,000 企業とすると | | 1社 142M |

中小企業指標等と比較して、

(1) * H28年度予想 (H2.964) / 1. 経常へ向かう

$$H29年度 8101 \times 1.05^{1/3} = 10,864 \div 11兆円$$

(2) 沖縄県の人口 144万人 (H18比 105.3%) 全国最高の人口増加率 (2位東京)

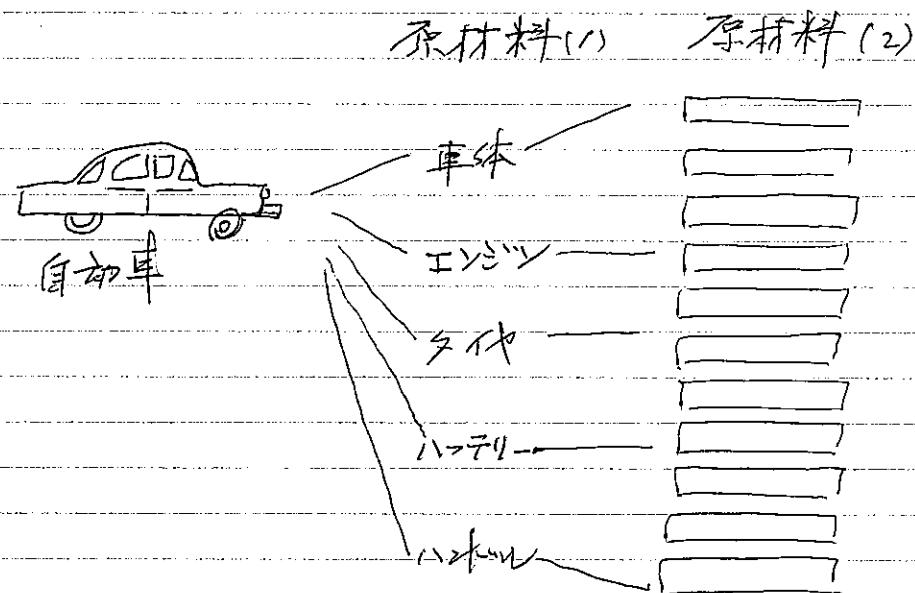
産業連関表

No.

DATE

1. 経済を構成する各産業は、相互に密接な関係を結んでおり
生産活動を展開する。

(例) 自動車生産の流れ



(1) 交付の①

各産業が生産活動の投入(購入)と費用構成

- ① 生産のために原材料をどこかといて買入れ、
- ② 新たな生産原単位をいくらか
- ③ 使用後、原材料のどこかで中間投入と呼ぶ
- ④ 新たな生産原単位を価値 — ① 稼金(雇用者所得)
② 企業利润

(2) ②のヨコの(行)

各産業が生産した商品、販路の構成の順序

- ① 中間需要 … 中間販売店と卸売部屋
- ② 最終需要 … 家計の消費、企業の設備投資等最終販

2.

| 需求部门 (买手) | 中间需要 | | | 最终需要 | | | 移 输出 (C) | 县内 生产额 (A+B+C) |
|------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|--|----------------|----------------------|
| | 产 生 业 1 | 产 生 业 2 | 产 生 业 3 | 中 间 需 要 计 (A) | 销 售 移 输 及 货 物 出 口 | 最 终 需 要 要 求 计 (B) | | |
| 供给部门 (卖手) | | | | | | | | |
| 中 间 投 入 | 中 产 业 1 0.18 4091458 | 中 产 业 2 0.19 745 | 中 产 业 3 0.14 561 | 重 生 物 9 9 量 目 | 130 1997 471 219 2358 3049 41.08 | 10 | | |
| 中 间 投 入 计 (D) | 0.43 1.715 | | | | 重 生 物 9 9 量 目 | 15 | | |
| 粗 付 加 值 价 值 | 雇用者所得 营业余利 | | | 構 成 (投 入 構 造) | -- 0.781 | | | 78.789 |
| 计 (E) | 0.57 2303 | | | | 47.008 | | | |
| 县内生产额 (G) | 40.8 | | | | 78.789 | | | |

重
生
物
9
9
量
目

構
成
(投
入
構
造)

(4.018)

(78.789)

3. 产业连用表分析

(1) 县内的产业构造、产业间的相互依存關係、县外吸引加工业

(2) 产业连用表分析

① 产业连用表

② 投入产出表

③ 逆行列係数表

(3) 産業連関表による分析 経済の構造を表す

産業連関表は算出される各種係数を利用して構成され、
公共機関又は個人開催者との特徴の発現、各産業部門
との主な経済効果を把握する分析手法である。

(4) 投入係数表

投入係数とは、産業連関表のタ行方向の費用構成に着目した
もので、ある生産物を1単位生産するに必要な各産業部門の
原料投入割合を示す係数である。

タ行投入額を、どの産業の生産額で除して求め

この投入係数表をタテに見ると、第一次産業に1単位の生産の耗費額と
第二次産業から0.10、第三次産業から0.19、第三次産業から0.14、原材料を
購入する比率がわかる。

例えば第一次産業に100万円の需要(購入)が発生すると、

第一次産業から10万円(100万円×0.10)……の原材料の提供(供給)が
あることになる。

つまりある産業の生産需要(購入)は、投入係数に基づく、

次々と各産業の需要を算出していきながらわかる。

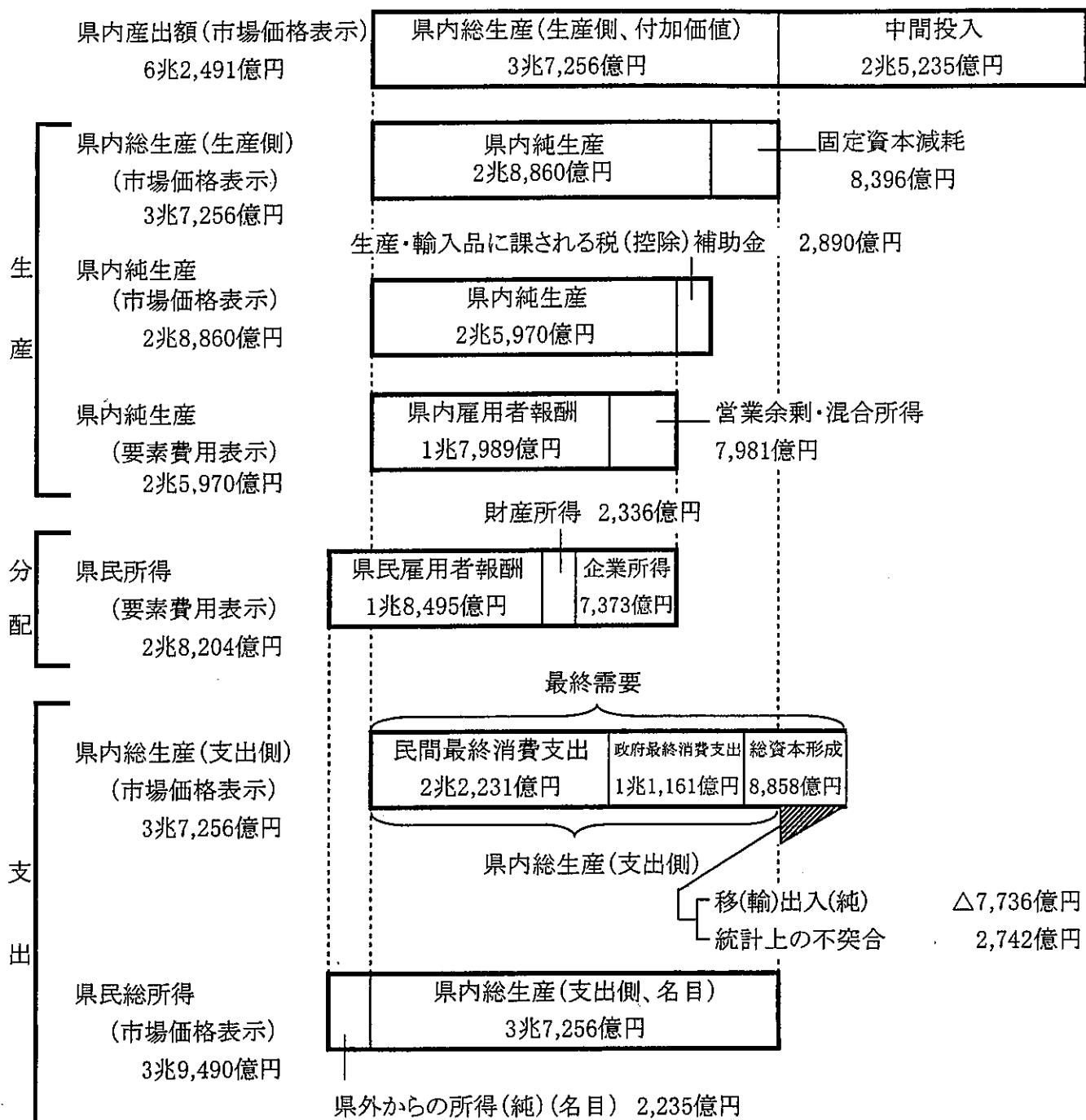
例えば、自動車産業に対する需要が1割増加し、自動車産業は
増産のため必要な原材料を1割増やす、となると……

(5) 逆行到係数

ある産業、1単位の需要が生じる、直接・間接の波及効果により、

各産業部門の生産係数が最終的にいくらかの変化を表す係数。

平成22年度県民経済計算の相互関連図



県内総生産(生産側)(市場価格表示) = 産出額 - 中間投入

県内純生産(市場価格表示) = 県内総生産(生産側) - 固定資本減耗

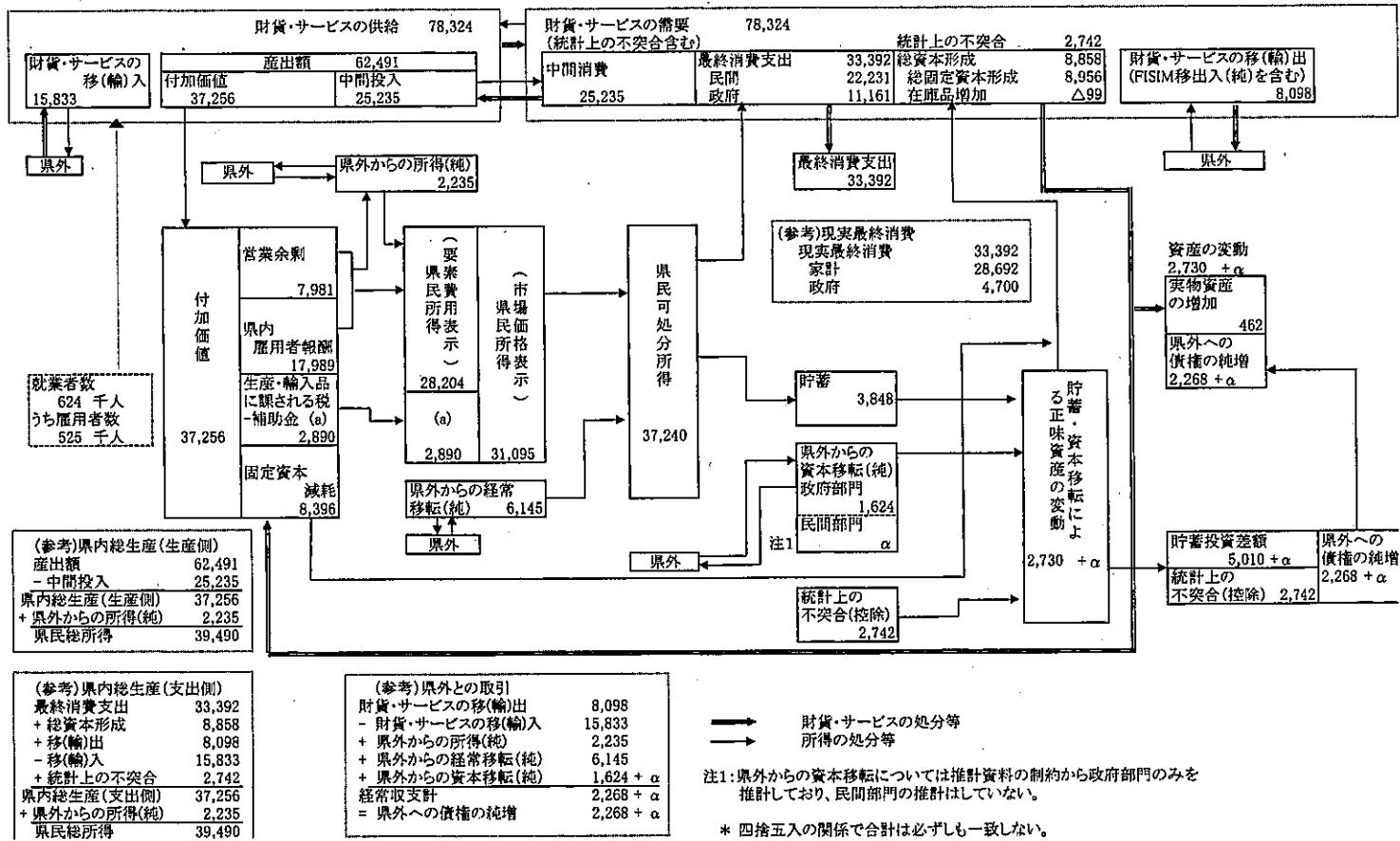
県内純生産(要素費用表示) = 県内総生産(生産側) - 固定資本減耗 - (生産・輸入品に課される税 - 補助金)

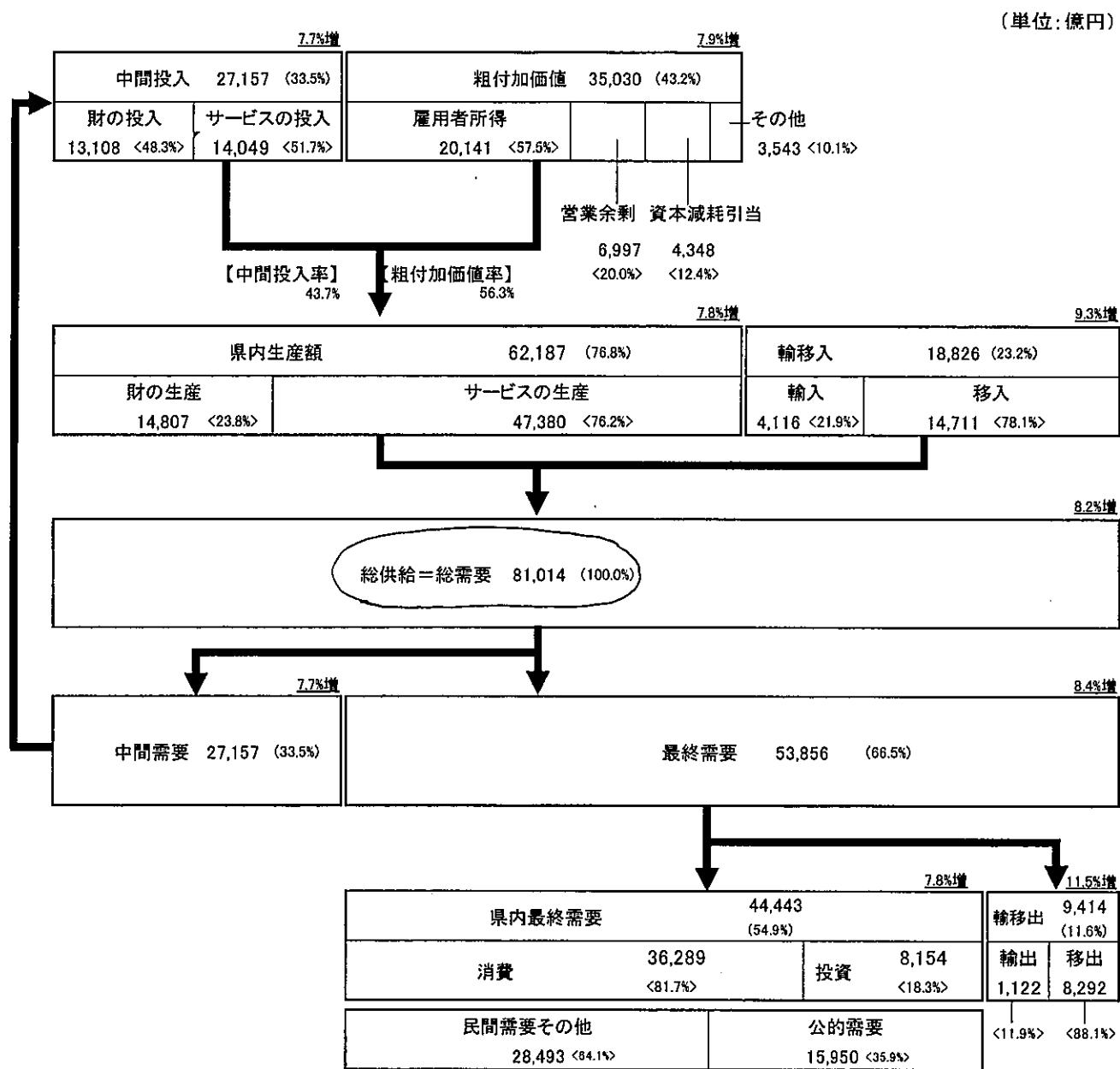
県民所得(要素費用表示) = 県内純生産 + 県外からの所得(純)

県民総所得(市場価格表示) = 県内総生産(支出側) + 県外からの所得(純)

平成 22 年度沖縄県経済の循環

(単位:億円)





(注1) (%)は総需要(=総供給)に対する構成比である。%増減は平成17年表に対する額の増加割合である。

(注2) 中間投入(=中間需要)、輸移入、県内最終需要、輸移出には、「古紙・金属屑」が含まれる。

(注3) ここでいう「財」は、第1次、第2次産業に該当する部門に、第3次産業の「電気・ガス・水道」のうち、「電気・ガス・熱供給」の値を加えたものをいう。

(注4) 粗付加価値の「その他」は、家計外消費支出(行)、間接税、(控除)経常補助金の合計である。

(注5) 「消費」は、家計外消費支出(列)、民間消費支出、及び一般政府消費支出の合計である。

「投資」は県内総固定資本形成及び在庫純増の合計である。

(注6) 「民間需要その他」は、家計外消費支出(列)、民間消費支出、総固定資本形成(民間)及び在庫純増の合計である。

「公的需要」は、政府消費支出及び総固定資本形成(公的)の合計である。

(注7) 四捨五入の関係で内訳と合計とは必ずしも一致しない。

県内主要経済指標

| 項目 | 年度 単位 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 対前年度増加率(%) | | |
|-------------------|-----------------|----------|----------|----------|----------|------------|---------|---------|
| | | (実績) | (実績見込) | (実績見込) | (見通し) | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 総 人 口 | 千人 | 1,426 | 1,434 | 1,440 | 1,447 | 0.5 | 0.4 | 0.5 |
| 労 働 力 人 口 | " | 683 | 705 | 711 | 716 | 3.3 | 0.9 | 0.6 |
| 就 業 者 数 | " | 645 | 671 | 681 | 687 | 4.0 | 1.6 | 0.9 |
| 完 全 失 業 率 | % | 5.6 | 4.8 | 4.2 | 4.0 | (▲0.6p) | (▲0.7p) | (▲0.2p) |
| 県 内 総 生 産 | 億円 | 40,511 | 41,952 | 42,964 | 43,860 | 3.6 | 2.4 | 2.1 |
| (実質 県内総生産) | " | (44,127) | (45,117) | (46,211) | (47,046) | 2.2 | 2.4 | 1.8 |
| 民 間 最 終 消 費 支 出 | " | 24,658 | 25,263 | 25,871 | 26,605 | 2.5 | 2.4 | 2.8 |
| 政 府 最 終 消 費 支 出 | " | 12,179 | 12,321 | 12,510 | 12,573 | 1.2 | 1.5 | 0.5 |
| 県 内 総 資 本 形 成 | " | 10,459 | 10,859 | 10,948 | 11,101 | 3.8 | 0.8 | 1.4 |
| 移(輸)出入(純) | " | ▲ 8,506 | ▲ 7,912 | ▲ 7,786 | ▲ 8,141 | 7.0 | 1.6 | ▲4.6 |
| 県 民 総 所 得 | " | 42,744 | 44,216 | 45,217 | 46,136 | 3.4 | 2.3 | 2.0 |
| 産 業 別 県 内 総 生 産 | 億円 | 40,472 | 41,919 | 42,953 | 43,834 | 3.6 | 2.5 | 2.1 |
| 第 1 次 产 業 | " | 615 | 639 | 660 | 668 | 3.8 | 3.3 | 1.3 |
| 第 2 次 产 業 | " | 5,614 | 5,838 | 5,819 | 5,908 | 4.0 | ▲0.3 | 1.5 |
| 第 3 次 产 業 | " | 34,242 | 35,442 | 36,474 | 37,258 | 3.5 | 2.9 | 2.2 |
| 1 人 当 た り 県 民 所 得 | 千円 | 2,129 | 2,195 | 2,229 | 2,261 | 3.1 | 1.6 | 1.5 |
| 消費 者 物 価 指 数(那霸市) | H27=100 (曆年) | 99.9 | 100.1 | 100.4 | 100.8 | (0.2p) | (0.3p) | (0.4p) |

(注)

1. 実質化は固定基準年方式のみを行っている。
2. 県内総生産は、輸入税と総資本形成に係る消費税(控除)が加味されているため産業別県内総生産と一致しない。
3. 本県経済をとりまく内外経済環境の変化に、予見し難い要素が少なくないことから、これらの数値については、ある程度の幅をもって考える必要がある。

1-4 産業連関表の仕組み

89

産業連関表の仕組みを図示したのが、図1-2である。

図1-2 産業連関表の仕組み

| 販路構成 | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------|-----------------------|------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|--|-----------------------|--------|---|--|
| (産出の配分) | | | | | | | | | | | | |
| 需要部門 (買い手) (供給部門) | 中間需要 | | | | | 最終需要 | | | | | 総 産 出 額 | |
| | 産業(部門) | | | | | 消費 | | 投資 | | 輸 | | |
| 1 産 業 1 | 2 産 業 2 | 3 産 業 3 | ... | n 産 業 n | 家 計 外 消 費 支 出 | 民 間 消 費 支 出 | 一 般 政 府 消 費 支 出 | 地 域 内 總 固 定 資 本 形 成 | 在 庫 純 增 出 | 移 出 | 一 控 除 ～ 輸 移 入 | |
| 中 間 投 入 部 門 (部門) | 1 産 業 1 | 2 産 業 2 | 3 産 業 3 | ... | n 産 業 n | 内生部門 (中間生産物の取引) ① | | | | | 外生部門 (最終需要部門) ③ | |
| 粗 付 加 価 値 構 成 ～ 内 訳 ～ | 家 計 外 消 費 支 出 | 属 用 者 所 得 | 营 业 余 剩 | 資 本 減 耗 引 当 | 間 接 税 | 外生部門 (粗付加価値部門) ② | | | | | ※図はモデルであり、沖縄県産業 連関表の表章形式と異なる。 ④ ⑤(生産額) | |
| 總 投 入 額 | ⑤(生産額) | | | | | | | | | | | |

(1) 列部門と行部門

図から①の部分をみると、表頭と表側に各々対応して産業(部門)が配置されており、表頭は財貨・サービスの買い手(需要)の立場としての産業(列部門ともいう)を、表側は売り手(供給)の立場としての産業(行部門ともいう)を表している。産業分類については、事業所または企業ベースによらず、生産活動単位(アクティビティ・ベース)という、いわゆる商品分類に近い分類方法を探っている。

(2) 投入と産出

表頭のある産業(部門)を“列(タテ方向)”に沿ってみると、その産業が自らの生産物を生産するのに原材料等として、どの産業(各行部門)からいくら購入したか、生産により新たに付加された価値はいくらなのかなど、その産業の費用構成(投入内訳)が示されており、これは通常「投入(インプット)」と呼ばれている。そしてその列和は一年間に投入した原材料や生産要素等の総投入額を表しており、その産業の生産額に等しい。

次に、表側のある産業(部門)を“行(ヨコ方向)”に沿ってみると、その産業が自らの生産物をどの産業(各列部門)にいくら販売したか、また消費、投資、及び輸移出にいくら向けられたか、県内需要に対する県産品の不足分をどの程度輸移入によりまかなってい

III. イノベーションと企業家精神

社会の転換

情報革命と人工知能

- (1) イノベーションとは企業家の武器[↑]
事業を発展させる手段。それは学
び、実践することのできる美学で
ある。
- (2) 戦後日本の社会と文化の偉業
明治、大正、昭和初期の日本
は文化的には不毛な時代であった。
日本は西洋の文化を吸収するに
忙しく独自の文化を発展させら
れなかった。
ところが敗戦によってルネッサ
ンスが起こった。
戦後 20 年間の日本は世界の文化
大国となった。
映画の巨匠、版画、陶磁器、デ
ザインが花開いた。
~~文~~字では川端康成と三島由紀夫
がいた。
その間 30 年間、日本は経済大国
への道をとり、関心と人材が経
済発展に、とられてルネッサン
スは終わった。
- (3) いかなる国といえども、新しい時
代、新しい社会、新しい経済に入
るには社会の転換を必要とする。
今 IT 革命が再び急激かつ大々的
な社会の転換を迫っている。
- (4) 今日、日本が直面している挑戦と
は何か、機会とは何か、社会的な
ニーズとは何か。そのテーマは
「社会の転換」である。

Entrepreneurial Strategies

2018.02.22

Entrepreneurial Stagias

情報革命と人工知能

Entrepreneurship requires
practices and policies outside.

企業家精神

内部 企業家の経営管理

企業の内部における政策と実践

外部 企業的戦略

企業の外部である市場にお

ける政策と実践へ

マイケルポータの競争の戦
略が最も有益である。

Fustest with the Mostest

総力をもって攻撃すること

=企業家の戦略

Being Fustest with the Mostest

(1) 総力をもって攻撃すること

Hitting them where they ain't

(2) 手薄なところを攻撃すること

(3) 生態的地位を確保すること

Finding and occupying a
specialized ecological niche

(4) 製品や市場の性格を変えること

Changing the economic
characteristic's of product,
Market, or industry

Hit them where Ain' t

"Hit them where they ain't" They might be called creative imitation and entrepreneurial judo, respectively

Ecological Niches 生態学的地位

小さな領域において、実質的な独占を実現すること。

(1) トールゲート戦略

(2) 専門技術戦略

(3) 専門市場戦略

Changing Values and Characteristics

All the strategies to be discussed here our thing in common. They create a customer -and that is the ultimate purpose of a business, of economic activity. in four different ways.

- (1) by creating utility
- (2) by pricing
- (3) by adaption to the customers soared and economic reality
- (4) by delivering what represented true value to the customer

旅客をつくり出す。実は旅客こそ、あらゆる経済活動の究極の目的である。

The Entrepreneurial Society

すべてそれぞれの世代は、新しい革命を必要とする
—トーマス・ジェファーソン—

存在の理由はもはやなくなり、かつての恵みは、悩みの種となる
—ゲーテ—

組織、制度、政策は、製品や工程やサービスと同じように、生命を失ったあとも生き延びようとする。

一度つくりあげたメカニズムは、いつまでも生きつづける。
しかし、それを設計する際に前提となったものは妥当性を失っているのである。

たとえば、過去 100 年にわたって、先進諸国において医療制度や年金制度を設計した際に前提とした人口動態がその一例である。

まさに「存在の理由は、もはやなくなり、かつての恵みが悩みの種となる」のである。

イノベーションは分権的である。

Suggested Reading

シュベンタードラッカー

イノベーションの対象領域

(経済発展の理論 1912)

企業家のもたらす動的な不均衡こそ経済の正常な姿、経済の中心

企業家精神とはすでに行っていることを上手に行うことよりも、まったく新しいことを行うことに価値を見出すこと—

それは権威に対する否定の宣言なのつた。企業家とは秩序を破壊し、解体するものである。

(創造は破壊)
的

- 材
- ① 新しい財貨の生産
 - ② 新しい生産方法の導入
 - ③ 新しい販路の開拓
 - ④ 現在料の新しい供給源の獲得
 - ⑤ 新しい組織の実現

- ① 予期せぬこと
- ② ギャップ 現実とかくあるべきの差
- ③ ニーズ 口
- ④ 産業市場の構造変化
- ⑤ 人工の変化
- ⑥ 認識の変化
- ⑦ 発明・発見による新知識

創造は破壊

断絶の時代

過去の趨勢とは明らかに異なる

四つの地殻変動

- ① 新しい産業の時代 スティーブ・ジョブズ
過先の発明と経験→知識に基づく
- ② グローバル化の時代
情報が垣根を越える
- ③ 組織社会の時代
人々は組織の機会を求めるような
- ④ 知識の時代
知識が社会や経済の基盤となる
知識の生産性が競争力の源泉となる

業態の見える化（フローチャート）

変化

2018.04.30
2018.02.26
2017.11.06
No. 2017.10.02
Date 2017.05.08
2017.02.06

参考にさせていただいた資料等 (業務の見える化実践) ITコンソーシアム
(社情報部、エイターフルネツ 野田和巳先生の講義) (発行 2017.4~12 口絶高生出版)
(人工知能伴人間支援システム 松尾豊著 2015.3 実業出版社)

七割以上独自性

I. 業務の見える化実践

1) プロセスの下限決まり、組織の理解、組織化

組織診断のプロセスの流れ

自己分析(自己組織化)

BPR ビジネスプロセスリエンジニアリングと BPM (QC活動) PDC手法

生産性向上と仕事

インフラ効率化

アドバクトの付加価値を高める

現状の業務改善を積み重ねる

1. BPEC Business Process Engineering Cycle

BPECとは、担当者の負担を最小限化し、

スムーズに、業務を標準化・抽出・可視化し、

効率的、効率的に業務改善を実現する方法

BPECは健康診断に似ています。

健康診断を経て病気に対する治療。

進行度とリスク評価です!!

2. 世帯抽出

(1) テンポレートにて世帯抽出 フローチャート①

(2) 世帯構造図の作成 フローチャート②

(3) 世帯量調査票にて世帯抽出

(4) 世帯データベースの作成

会員登録
街角や健康診断

3. 世帯の洗い出し (ルーチン / 程度)

① 世帯データベースを使用して、②ルーチンクラスへヒアリングを行い。

③ 世帯構造図を完成させよ

世帯データベース

Level 1

差生

Level 2

(1) 差生活動

(2) 差生生活

Level 3

(1) 差生活動 生理衛生管理 展示会 旅行休暇

(2) 修学 入力 商品経営 電気料金 往来

Level 4

アホウドウ 価格交渉 商品転手 移動

4. 世帯量調査票の作成 (各担当者 30~40程度)

ルーチン作成の洗い出表に基づき

調査表には、世帯の一覧をさらに記載しておく

担当者は、下の空欄に行に括弧内に世帯を記入。

5. テーブルベース完成 (アート・ラッシュ -)

アート・ラッシュと十の完成 No. 3~4 (2月)
(業務マトリックス)

6. 管理分析

(1) 会員貢献分析

(2) 品入会員分析

(3) 会員レポート分析

(4) コスト分析

(5) フォルダ「完成範囲の決定」

上位2割の会員

(6) 貢献の高い会員に着目

時間数と頻度

1-タニ

① 1人
貢献



② 30~40人
会員登録のみ

粗暴者

BPEC

(7) 実行の流れ会員

会員登録のみ

会員登録のみ

7

雇人生務の特徴

雇人生務者派遣制度 - 会員登録制度

A: 熟練者、専門家、技術者等

B: Amt Crt フルタイム勤務

少拵子

C: 生活者派遣制度、就労者派遣制度

3段階上板

A & B & C

速報S B&C

A、B、C 対応する老齢者

利用者二

8. 8月W1W2の確認

全体

管理者

社員

新規社員

会社

110人

後期、時間、了承

9 世務フロー作成

(1) 世務フローの作成

(2) BPMN図表

(3) ハマツル方法(手順)

負荷分析 → スキルレベル分析 → 層別業務分析

→ コスト分析 → ストリーミング分析 ⇒ 世務フローセス抽出

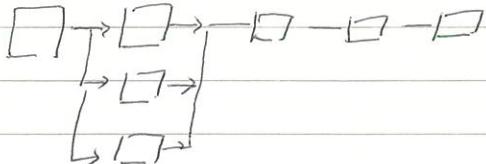
地図、MAPの作成 健康診断の発見

(4) ハマツル

現場、顧客との共同作業 → 一緒にやる!!

(その場、現実、正確、短時間、叶う部分)

(5) 世務フローセスを描く



(6) 世務フローから課題を抽出

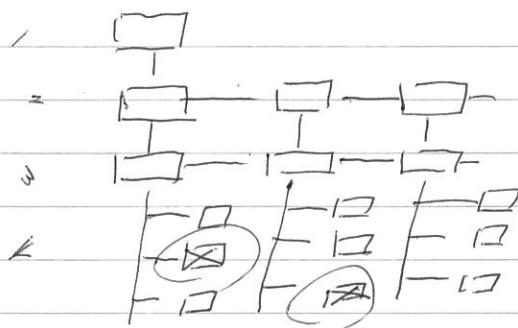
12

BPEC ビジネスプロセス見直し

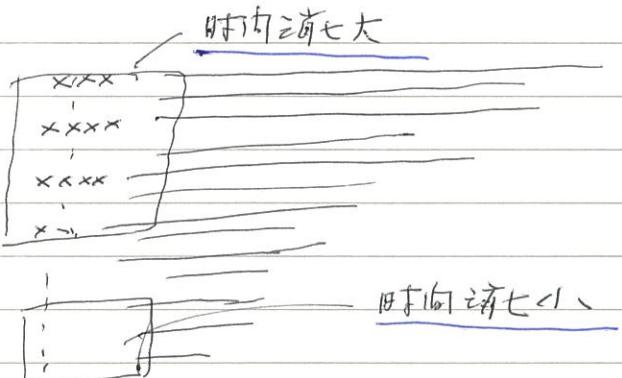
(業務の見える化)

(Business Process Engineering Cycle)

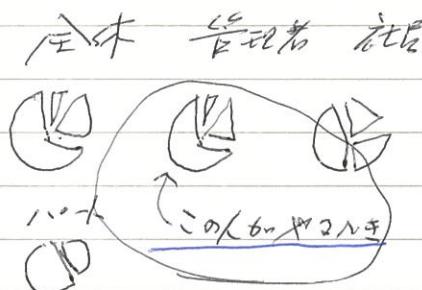
① あれ? この業務不要です....



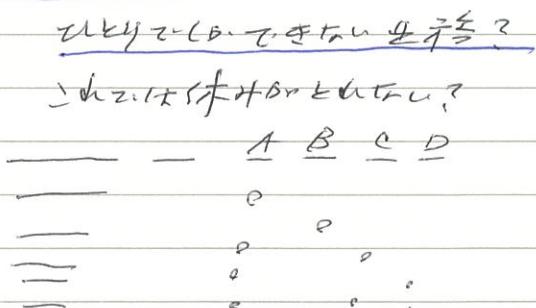
② 業務毎の改善点は....



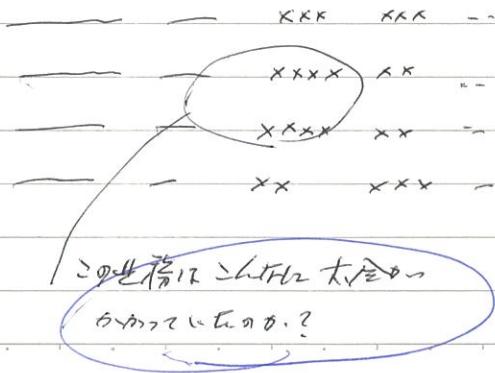
③ 考え柱と経期は....



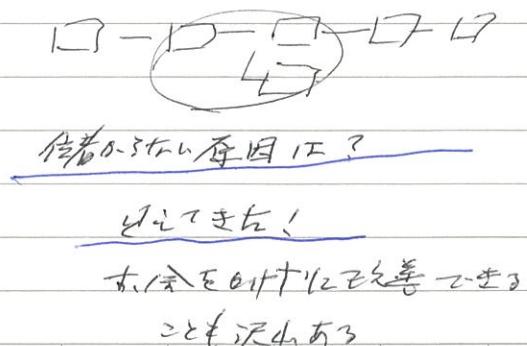
④ 品人の仕事....



⑤ 仕事を本当に換算すると....



⑥ 業務をどう直す? 正解....



経済統計データ推計の基礎知識

株)三井銀行総合研究所

から抜粋させていただきました

産業連関表とは(2)一産業連関表の内容

「産業連関表」とは、以下の表をセットにして呼称したもの

- ・取引基本表
- ・投入係数表
- ・逆行列係数表
- ・雇用表

4

産業連関表とは(3)一取引基本表とは

取引基本表

- ・どのような産業であっても、自産業及び他産業から原材料・エネルギー、サービスを調達し、労働力を投入することで、別の財やサービスを生産し、自他産業や家計部門に販売している
- ・取引基本表とは、産業間あるいは産業と家計部門等との相互の取引関係を一覧表にしたもの。
- ・タテ方向は調達・投入の内訳、ヨコ方向は販売の内訳を示す。

5

産業連関表とは(4)—取引基本表の示す内容

取引基本表の基本構成

中間需要

| | 産業1 | 産業2 | 最終需要 | 移輸入 | 市内生産額 |
|-------|----------|----------|-------|--------|-------|
| 産業1 | x_{11} | x_{12} | F_1 | $-M_1$ | X_1 |
| 産業2 | x_{21} | x_{22} | F_2 | $-M_2$ | X_2 |
| 粗付加価値 | V_1 | V_2 | | | |
| 市内生産額 | X_1 | X_2 | | | |

生産した財・サービスの販売状況

原材料等の調達、労働力の投入の状況
産業毎に一致

- ・タテ方向は、表頭の産業が生産に要した原材料・サービスの投入、人件費などを表す。
- ・ヨコ方向は、表側の産業が生産物をどの部門にどれだけ販売したかを示す。
- ・タテ合計とヨコ合計が各産業で一致するのが最大の特徴。

6

産業連関表とは(5)—投入係数表とは

投入係数表

- ・取引基本表から作られる表で、取引基本表の中間需要の各列毎に、原材料等の投入額を当該産業の生産額で除して得た係数を一覧表にしたもの。列和は必ず1になる。

| | 産業1 | 産業2 | 最終需要 | 移輸入 | 市内生産額 |
|-------|-----|-----|------|-----|-------|
| 産業1 | 30 | 150 | 180 | -60 | 300 |
| 産業2 | 60 | 250 | 240 | -50 | 500 |
| 粗付加価値 | 210 | 100 | | | |
| 市内生産額 | 300 | 500 | | | |

| | 産業1 | 産業2 |
|-------|-----|-----|
| 産業1 | 0.1 | 0.3 |
| 産業2 | 0.2 | 0.5 |
| 粗付加価値 | 0.7 | 0.2 |
| 市内生産額 | 1.0 | 1.0 |

[投入係数表]

[取引基本表]

中間需要の各列毎に、原材料等の投入額を当該産業の生産額で除する(実数を列構成比にする)

7

産業連関表とは(6)—逆行列係数表とは

逆行列係数表

- 取引基本表から導出される表で、「ある産業部門に1単位の需要が生じた場合に、各産業に最終的にどの程度の生産が発生するか」を示す係数を一覧にしたもの。各数値は、表頭の産業に1単位需要が生じた場合に表側の産業に発生する生産誘発額を表わす。
- 経済波及効果推計に直接利用されるのはこの逆行列係数表。

| | 産業 1 | 産業 2 | 産業 3 |
|------|------|------|------|
| 産業 1 | a | b | c |
| 産業 2 | d | e | f |
| 産業 3 | g | h | i |

産業 3 に 1 単位の需要が生じた場合に産業 1 に生じる生産誘発額

産業 2 に 1 単位の需要が生じた場合に産業 3 に生じる生産誘発額

8

産業連関表とは(7)—逆行列係数表を使った計算の基本

逆行列係数表を使った生産誘発額の計算

- ①例えば、産業3に1単位の需要が生じた場合、
生産誘発額は産業1でc、産業2でf、産業3でiとなり、合計すると生産誘発額は $c + f + i$ となる。

- ②産業1に2単位、産業3に1単位の需要が生じた場合、

産業1によって $2(a + d + g)$

産業3によって $c + f + i$

の生産が誘発され、合計すると生産誘発額は

$$2(a + d + g) + c + f + i$$

となる。

9

産業連関表とは(8)—行列を使った計算の表現

逆行列係数表を使った計算を行列で表現する

- 前頁の①、②の計算は、行列による記法を使うと次のように表現できる。

$$A = \begin{bmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{bmatrix} \quad Y_1 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} \quad Y_2 = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$$

$$\textcircled{1} \quad AY_1 = \begin{bmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} c \\ f \\ i \end{bmatrix} \longrightarrow \begin{array}{l} \text{合計して} \\ c + f + i \end{array}$$

$$\textcircled{2} \quad AY_2 = \begin{bmatrix} a & b & c \\ d & e & f \\ g & h & i \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2a+c \\ 2d+f \\ 2g+i \end{bmatrix} \longrightarrow \begin{array}{l} \text{合計して} \\ 2(a+d+g) + \\ c + f + i \end{array}$$

10

産業連関表とは(9)—雇用表とは

雇用表

- 産業連関表の推計対象年の生産活動のために各産業部門が投入した労働の量を、就業者数で表示したもの。

- 単位生産額(百万円)当たりの就業者数(=就業係数)などが掲載されている。生産誘発額から雇用誘発数を求める場合に必ず使用される。

11

276

明清(1) 1368-1912

明清现代

⑨

No.

Date

朱元璋在元末农民起义中力挽群雄，推翻了元朝的腐敗統治
(1328-1398)

建立了明王朝。他在政治、軍事上作了一番革故鼎新的變革。

朱元璋參加了紅巾軍，時年25歲。

1976年4月、华はアカデミー連絡事務所長、トーナメント会議にて。

この件の報告書下先は桂川豊久氏のものである。

「华は手腕が鋭く、行動範囲が広く、移行期の権威的長人物の如く、内外政策で戦略的な政策を取る事が出来る。」 「和下新左衛門、より後の高木姓華若の發祥手筋の如きを心配す。华は歴史的名前を藝文長屋以後、本堂姓に押しつけて(平成13)」

明 清(5) / 18-19/2

No. _____
Date . . .

1616年，努尔哈赤建立后金，定都赫图阿拉（今辽宁新宾县），创建了统一的女真族奴隶国家。皇太极在位时期，后金完成从奴隶制向封建制的转化，改国号为清。

努尔哈赤（1559—1626）是女真酋长猛哥帖木儿的六世孙，
姓爱新觉罗，一度投到明宁远总兵李成梁帐下，喜读
(金)(元)
<三国演义>和<水浒>，接受过汉文化的熏陶。回建州后，
被封为建州左卫都督，并加封龙虎将军。

努尔哈赤在统一女真各部的过程中，建立了八旗制度，平时耕作，
战时出征。

外債は11-12年、年金を徴収し、以降すら米口債を買いつぶしている。
米中関係が悪化し、中国から米口債を売却する事態とされる。
米口債は暴落し、日本も年金は止める。

日本が何の事か世界の信頼を失り、口債や株式の暴落が
均金も年金江太郎（日減）する。

明清(9) 1368-1912

No. _____

Date . . .

在清前期对外贸易中，中国长期保持出超。

英国为了改变贸易中入超的不利地位，决定把鸦片作为对中国贸易的主要商品。乾隆年间，^东英印公司占领了鸦片产地孟加拉，1793年开始对中口经营鸦片贸易。

军队战斗力削弱，白银外流、百姓负担加重。鸦片输入成了当时严峻的社会问题。1839年3月，林则徐以钦差大臣身份来到广东禁烟。

明清 (10) 1368-1912

No. _____

Date . . .

太平天国农民革命的领导人是广东人洪秀全 (1814—1864)。

1851年1月1日 洪秀全，正式宣布起义，建立太平天国。

中日史(現代)

一带一路

巨大な時代の流れ (中日の新時代の協力モデル)

陆上海のルート

(1) 陸 中日 - 東南アジア - 南アフリカ
中央アジア - 中国 - 歐州

(2) 海 中日 - 南太平洋 - 南洋海 - 印度洋 - 地中海

(3) AIBB アジアインフラ投資銀行

法定資本 1千億ドル 10% 固定

世界銀行、亞洲開発銀行に並ぶ世界の金融機関

(4) ルート基金

(5) 主要投資範囲

① 給水・② 資源・③ 郵便開拓・④ 農林開拓・⑤ 物流

登下小平

2023. F. 4. 1 - 7

最後生産量

後方の日を用意されてる。いつも結構成長させに行く。

組織者たる立派な指導力があるからだ。

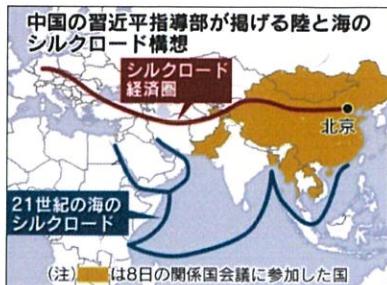
胡光耀邦の内訳

趙紫陽の内訳

最後の5年、日本の向心事業の「新日本、日本化」

中止、「尖閣列島の領有権は日本は問題が存在する」

これが日本の領地の限り、また領事館などある。



一帯一路と中国の皇帝 (中国の統治の歴史)

(1月のごあいさつ)
平成30年1月1日(月)

陳舜臣先生の中国の歴史を読み終えた。史記や三国志や十八史略も併読しながら、最後は習近平の全地球的経済発展戦略(一帯一路)にも目を通した。

中国の歴史を見て、**皇帝(強力な指導者)**には二つのスタイルがあるように思う。それは、中国という大国を統治することに主眼を置いた皇帝と国際的な視野で中国を拡大した皇帝である。

中国を統治した皇帝の第一は、言うまでもなく、**秦の始皇帝**である。春秋・戦国の諸侯や英雄が並立する時代を、歴史上初めて一つの中国にまとめた英雄は始皇帝である。次に秦の短い統治を反省し、四百年間の漢の時代を開いたのは、楚の項羽を下し漢を建国した**高祖劉邦**であった。その後再び分裂した中国を統一したのは隋であり、隋を継いだ唐である。蒙古による異民族支配に取ってかわり、漢人の政権を打ち立てたのは、**明の洪武帝朱元璋**であった。時を経て現在の中国を統一した指導者は**毛沢東**である。これらの強力な皇帝は中国という大国を一つにまとめた。

これらの皇帝に対し、中国の外に目を向け、**国際性を目指した皇帝**がある。その第一は**漢の武帝**である。高祖、文帝の国内の蓄積を活用し、匈奴を撲滅するという戦略の下に、遠くローマまでのシルクロードを開いた武帝は、中国を一気に**世界帝国へと飛翔**させた。武帝の後も唐の都長安は玄宗の盛唐時代を中心に国際的都市であった。その後、帝国の版図拡大に努めた皇帝は**元の成祖フビライ**であり、シルクロードを経由した東西の往来は軌道に乗り、国都大都(北京)には東方見聞録を著わしたマルコポーロも訪れている。**明の永楽帝**は韃靼を討ち、鄭和を南海、遠くアフリカまで派遣して諸国を従わせた。

2014年11月、中国で開催されたアジア太平洋経済協力首脳会議で、**習近平総書記**は、中国西部から中央アジアを経由してヨーロッパへつながる「**シルクロード経済ベルト**」(一帯)と中国沿岸部から東南アジア、アラビア半島、アフリカ東岸を結ぶ「**21世紀海上シルクロード**」(一路)の二つの地域を中心に世界経済圏構想を提唱した。そして、その実現へ向けたアジアインフラ投資銀行(AIIB)やシルクロード基金の創設などの諸政策は顕在化しつつある。

他国の内政に干渉せず、体制モデルを押し付けないこの戦略は、従来のアメリカによる**軍事的リーダーシップ**とは一味違う、世界の経済的繁栄を主眼とした考え方であり一目に価する。

习近平の改革

政治、経済、社会、文化、思想等の改革

腐敗と改革の連動

口氏の要旨

指導思想の問題

腐敗との斗争（蘇熙東、周永康等の不正行為）

社会主义市场经济の中の私有財産と言（これまでの公有化）

权力 = 私有財産 ----- 腐敗

構造緩和の問題を直ぐに除く方法は五点

地方都市の改革 - 土地の開発 - 都市基盤整備の引入

- 共産党中央の利権集團（寄生虫）

↓
常に新しく自己満足させ方針の創出

(1) 台湾の中国復归、統一（香港の失敗）

(2) 経済成長の继续

(3) 新しい思想（一带一路）の全球的形成

(4) 腐敗の問題の解決方向

(5) 司法の独立

(6) 腐敗との更なる斗争